

資料1

科学技術予測・政策基盤調査研究センター (動向分析・予測研究系)について

2025年11月
文部科学省
科学技術・学術政策研究所

科学技術予測・政策基盤調査研究センターとは？

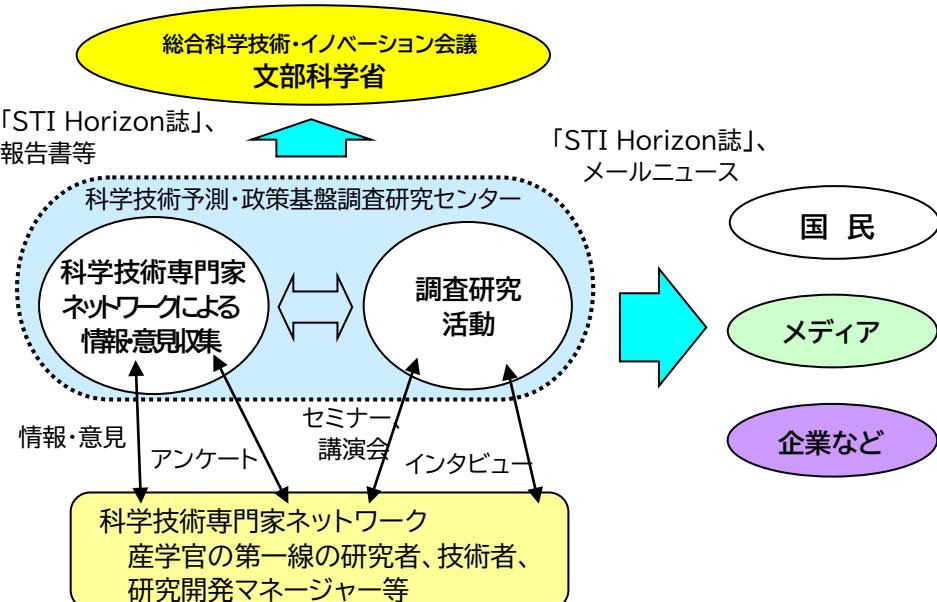
科学技術・学術政策研究所は、国の科学技術・学術政策の企画・立案に資する政策研究のため設置された文部科学省直轄の国立試験研究機関です。行政ニーズを的確に捉え、意思決定過程への参画を含めた行政部局との連携、協力を行うことが期待されています。

2001年、科学技術・学術政策研究所(当時:科学技術政策研究所)では、科学技術動向の調査・分析機能を充実・強化することを目的に、科学技術動向研究センターが設置され、2016年4月に科学技術予測センターに改組されました。

さらに、2021年4月に科学技術予測センターと科学技術・学術基盤調査研究室が統合し、科学技術予測・政策基盤調査研究センターが設置されました。科学技術・政策基盤調査研究センターでは、「科学技術動向及び将来予測に関する理論的及び実証的調査研究」(動向分析・予測研究系)と「科学技術・学術振興の状況と基本的な政策等に関する理論的及び実証的調査研究」(基盤調査研究系)を実施しています。

動向分析・予測研究系では、科学技術の動向及びそれを取り巻く社会の状況について、将来大きなインパクトをもたらす可能性のある変化の兆候をいち早く捉えることを目的に、将来の社会の見通しなどを含めた多面的な視点から俯瞰(ふかん)的かつ科学技術の将来を予測する体系的な調査(ホライズン・スキャニング)などを行っています。

調査研究の成果は、弊所の機関誌であるSTI Horizon誌(季刊)等に取りまとめ、政策立案の基礎資料として提供する他、弊所Webサイト・機関リポジトリ上で幅広く公開しています。



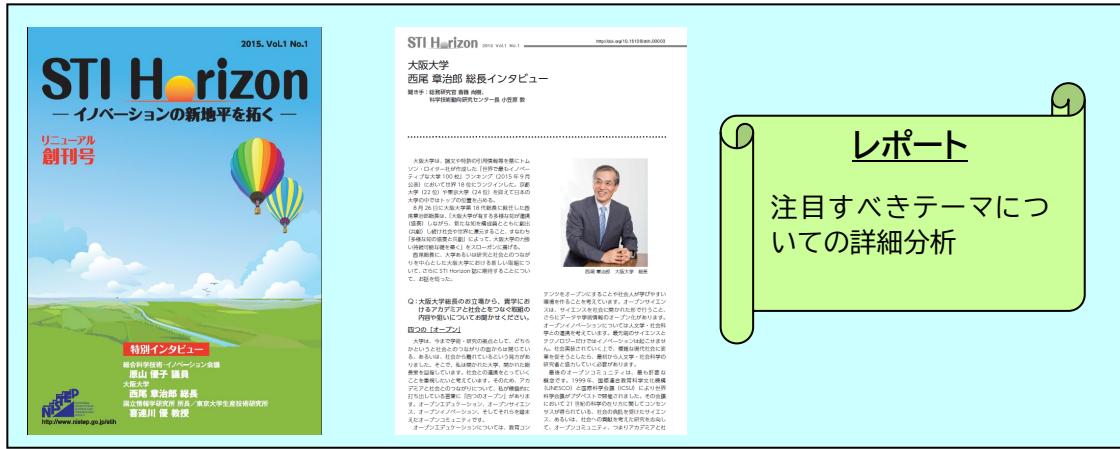
(1) 科学技術専門家ネットワークによる情報及び見解の収集

科学技術予測・政策基盤調査研究センターは、第一線の研究者・技術者等の専門家から構成される、科学技術等に関する情報や見解を収集するための「科学技術専門家ネットワーク」を運営しています。現在、約1,600名の専門家を擁しており、オンラインアンケートを通して専門家コミュニティの見解を収集・分析し、これらを調査研究の基礎情報として役立てるとともに、政策検討のための各種会合などに情報提供しています。

(2) 科学技術をとりまく動向の分析及び研究所全体の成果発信

科学技術予測・政策基盤調査研究センター動向分析・予測研究系は、科学技術研究開発の方向性の変化、今後取り組むべき研究開発課題、科学技術システム諸要素の現状や問題点などについて、調査分析を行っています。これらの調査分析結果は当研究所全体の他の研究成果とともにSTI Horizon誌に掲載し、広く情報発信をしています。

STI Horizon誌



(3) 科学技術予測調査の実施と未来洞察に関する調査研究報告書の発行

我が国では1971年から約5年ごとに大規模な科学技術の予測調査を行っており、第5回(1992年)から当研究所が調査を担当しています。2019年に第11回調査の結果を公表し、2022年度より第12回調査を開始しており、この成果は今年度中に公表予定です。





文部科学省 科学技術・学術政策研究所
科学技術予測・政策基盤調査研究センター
動向分析・予測研究系
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2
中央合同庁舎第7号館東館 16階
Eメール: stfc@nistep.go.jp